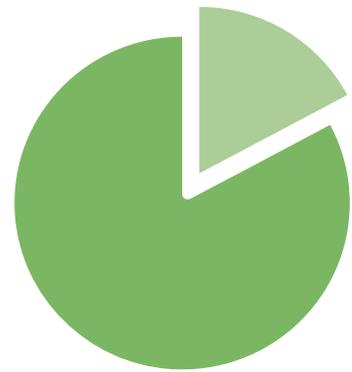


令和5年度 予算特集



旭市の財政を分かりやすく解説します

問い合わせ先
財政課財政班 (☎62-5316)

令和5年度旭市の予算

令和5年度の当初予算は「チーム旭でまちづくり」の推進と「第2期 旭市総合戦略」の実現に向けて、教育・子育て支援の充実や防災力の強化など、本市のさらなる発展を目指したさまざまな事業を盛り込んだ予算となっています。令和5年度の主な事業は、6～8ページに掲載しています。

一般会計予算は305億円

旭市の会計には、一般会計と4つの特別会計と3つの企業会計があり、それぞれの会計ごとに予算が組み立てられ、運営されています。予算総額は517億3,998万9千円で、内訳は一般会計が305億円、特別会計は4会計を合わせて177億4,800万円、企業会計は3会計を合わせて34億9,198万9千円です。



一般会計、特別会計、企業会計の3種類のお財布

一般会計	福祉や教育、道路整備など、市の基本的な事業を行うための会計	令和5年度予算	前年度予算
		305億円	287億1,000万円

特別会計	国民健康保険のように、保険料を徴収して特定の事業に充てている場合など、一般会計と区別する必要がある事業の会計		令和5年度予算	前年度予算	
			177億4,800万円	177億6,500万円	
	内訳	病院事業債管理	28億3,100万円	25億9,100万円	
		国民健康保険事業	事業勘定	84億2,400万円	89億円
			施設勘定	8,000万円	8,200万円
後期高齢者医療		8億1,000万円	7億8,500万円		
介護保険事業	56億 300万円	54億 700万円			

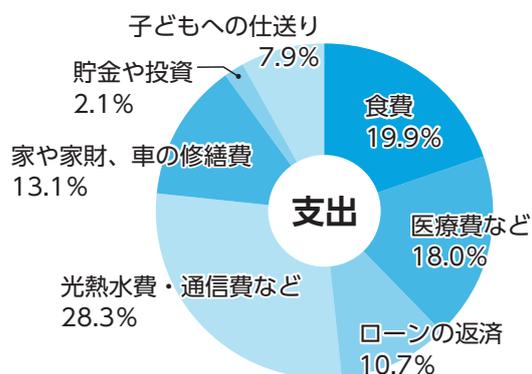
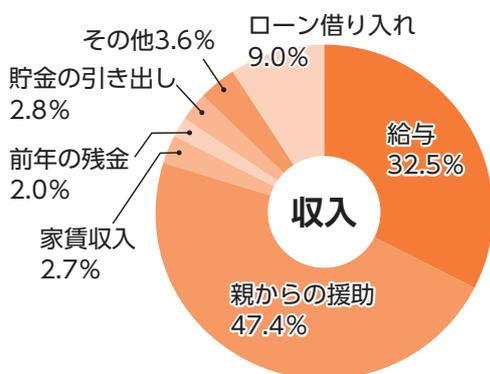
企業会計	民間企業のように、利用料金などの収益で運営している事業の会計		令和5年度予算	前年度予算
			34億9,198万9千円	29億6,425万1千円
	内訳	水道事業	24億9,512万7千円	19億3,139万7千円
		公共下水道事業	8億7,419万3千円	9億1,308万9千円
農業集落排水事業		1億2,266万9千円	1億1,976万5千円	

市の予算を家計に置き換えてみると

一般会計予算額を年収564万円*の家計に置き換えてみました。

※令和3年国民生活基礎調査の1世帯当たりの平均所得金額で算出。

収入		支出	
給与 (市税、地方譲与税、その他交付金)	183万円	食費 (人件費)※1	112万円
親からの援助 (地方交付税、国・県支出金)	267万円	医療費など (扶助費)※2	101万円
家賃収入 (分担金、負担金、使用料、手数料、財産収入など)	15万円	ローンの返済 (公債費)※3	60万円
前年の残金 (繰越金)	11万円	光熱水費や通信費など (物件費、補助費等)※4、※5	160万円
貯金の引き出し (繰入金)	16万円	家や家財、車の修繕費 (維持補修費、普通建設事業費)※6	74万円
その他 (寄附金、諸収入)	21万円	貯金や投資 (積立金、投資及び出資金など)	12万円
ローンの借り入れ (市債)	51万円	子どもへの仕送り (繰出金)※7	45万円
合計	564万円	合計	564万円

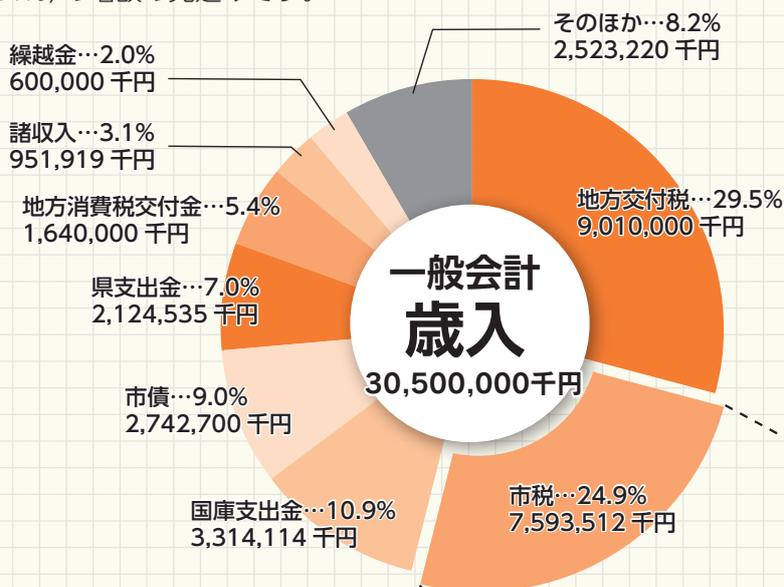


- ※1 人件費…市職員の給与や手当などを支払うための経費
- ※2 扶助費…医療に関する経費や、生活保護・児童手当の給付、私立保育園の運営補助などにかかる経費
- ※3 公債費…国や金融機関から借りたお金の返済にかかる経費
- ※4 物件費…光熱水費、消耗品費、委託料など
- ※5 補助費等…各種団体に対する補助にかかる経費
- ※6 維持補修費・普通建設事業費…道路や公園、学校など公共施設の建設や改修などにかかる経費
- ※7 繰出金…特別会計の歳入を補うための経費

歳入の内訳

一般会計の歳入の内訳を見ましょう

市税は75億9,351万2千円とし、全体では、国際的な原料価格の上昇や、エネルギー・食料価格の高騰による影響などはあるものの、前年度決算見込みの状況などから、前年度と比べ1億7,370万6千円(2.3%)の増額の見込みです。地方交付税は90億1千万円。そのうち普通交付税は80億円で、地方財政計画の伸びなどから前年度と比べ1億円(1.3%)の増額の見込みです。また、特別交付税は10億1千万円で、新規費目の追加などにより、前年度と比べ1千万円(1.0%)の増額、国庫支出金は33億1,411万4千円で、前年度と比べ1億4,747万5千円(4.7%)の増額、県支出金は21億2,453万5千円で、前年度と比べ2億1,788万8千円(11.4%)の増額の見込みです。



使い道が決まっている市税とは？

旭市の市税には、固定資産税をはじめ7種類の税があります。そのうち、都市計画税と入湯税は、その使い道が決められている目的税です。都市計画税は都市計画事業に、入湯税は消防施設や観光施設の整備、観光の振興などに要する経費に活用しています。



市民1人当たりが
納める市税
120,000円

※1,000円未満四捨五入。

市税予算額75億9,351万2千円÷
人口63,257人(R5.3.1現在)

市税の内訳



固定資産税
3,132,723千円



個人市民税
3,080,605千円

市たばこ税	531,865千円	軽自動車税	244,404千円
法人市民税	334,649千円	入湯税	8,480千円
都市計画税	260,786千円		

※都市計画税は、都市計画区域内(旭地域)の土地や建物に課税されています。

なぜ、市は借金をしているの？

学校や道路、公園など、公共施設の整備には多額の費用が必要です。これらの整備時に必要な費用を1年間の予算で賄ってしまうと、その年はほかの事業ができなくなってしまいます。

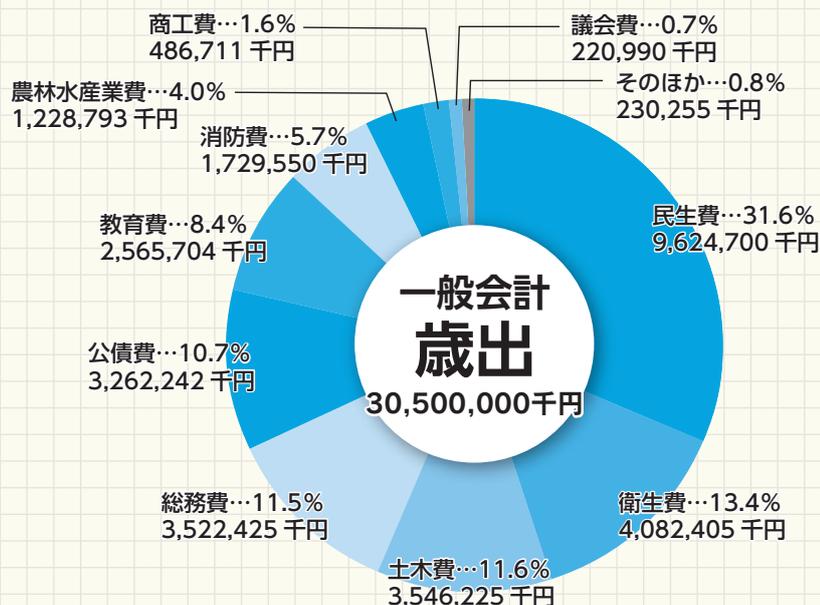
また、公共施設は長い期間、次世代の人たちも利用することから、市は市債を発行(借金)し、翌年度以降に返還していきます。年度間の財政負担を平準化し、将来の市民の皆さんにも整備費用を公平に負担してもらうためです。



歳出の内訳

一般会計の歳出の内訳を見てみましょう

一般会計当初予算における目的別歳出では、民生費が最も多く全体の31.6%を占め、子育て支援や福祉サービスなどに活用されます。続く衛生費は13.4%で市民の健康づくりやごみ処理などの公衆衛生などに活用されます。土木費は全体の11.6%で道路や排水路の整備などに、総務費は11.5%で庁舎管理やコミュニティバスの運行などに活用されます。市の借金の返済に充てる公債費は全体の10.7%となっています。教育費は8.4%で小・中学校や文化施設およびスポーツ施設の整備などに活用されます。



市民1人당に
使われるお金
482,000円

※1,000円未満四捨五入。

一般会計予算額305億円 ÷
人口63,257人 (R5.3.1現在)

市民1人당に使われるお金の内訳



民生費
152,200円



衛生費
64,500円



土木費
56,100円

総務費	55,700円	農林水産業費	19,400円
公債費	51,600円	商工費	7,700円
教育費	40,600円	議会費	3,500円
消費費	27,300円	その他	3,600円

地方消費税率の引き上げ分は、社会保障関係経費に活用

消費税率(国・地方)は、平成26年に8%、令和元年に10%へ引き上げられました。これらの引き上げに伴う地方消費税交付金の増収分は、高齢者、障がい者、児童の福祉など社会保障施策の経費に充てられることとされています。

歳入/引き上げ分の地方消費税収入(地方消費税交付金): 8億6,000万円

歳出/社会保障4経費、その他社会保障施策に要する経費: 111億6,164万4千円

※社会保障4経費とは、年金、医療、介護の社会保障給付や、少子化に対処するための施策に要する経費です。

令和5年度の主な事業

「旭市総合戦略」4つの基本目標に基づく事業

「チーム旭でまちづくり」の推進に向けた令和5年度の主な事業を4つの基本目標ごとに紹介します。

拡…拡充事業

新…新規事業

① 魅力ある雇用を創出し、安心して働けるまちづくり

農水産業の振興、商工業の振興、観光振興のための事業など

拡 商業活性化推進事業…………… 96,516千円

商店街の活性化や商業振興を図るため、空き店舗の活用者や商工業後継者の育成を支援します。また、前年度に引き続き、30%のプレミアム付商品券発行事業や、商店街が実施するイベント事業などに助成します。

拡 観光資源創出プロモーション事業……………7,792千円

新たな観光資源の創出や観光事業者などとの連携による着地型(体験型)観光を推進し、観光客を誘致します。今年度は、冬期観光PR動画をYouTubeで広告するほか、Instagram広告を活用し、市の観光地としての魅力を全国へPRします。

観光施設管理費…………… 77,556千円

観光施設の運営・維持管理に努め、利用者に安全で衛生的なふれあいの場を提供します。今年度から、観光遊歩道に安全施設を設置するなどの整備を行います。



多くの人を訪れる七夕市民まつり

拡 観光イベント事業…………… 27,677千円

観光の振興と地域活性化のため、各種観光イベントの支援を行います。

新規就農総合支援事業…………… 49,390千円

新規就農者の確保と育成を図るため、親元就農チャレンジ支援金助成や転入者農業チャレンジ支援金助成などにより、総合的な支援を行います。

水田農業構造改革推進事業…………… 167,171千円

水田農業の安定経営を図るため、需要に即した米作りを推進します。食料自給率と食料自給力を維持向上するため、飼料用作物への転換を図る農家を支援します。

家畜防疫対策事業…………… 41,080千円

家畜伝染病の発生やまん延を予防するため、ワクチンの接種や検査の実施、消毒薬などの購入費用を助成します。

畜産環境フレッシュ事業……………7,542千円

畜産由来の臭気を軽減させ、周辺環境の向上を図るため、家畜排せつ物の消臭軽減効果のある添加剤や臭気の拡散防止効果のある資材の導入費用を助成します。

農業水利施設改修事業…………… 67,792千円

農業用排水路施設の機能の長寿命化などを行い、農村環境の維持と向上を図るとともに、施設の長寿命化や改修に取り組む団体を支援します。

② 結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり

子育て支援の充実、地域福祉の充実、学校教育や生涯学習充実のための事業など

拡 感染症予防対策事業…………… 174,730千円

感染症予防のため、各種予防接種を実施するほか保健所などと連携して感染症予防対策を図ります。

インフルエンザ予防接種費用と新型コロナウイルス感染症の集団感染を防ぐための検査費用の助成を行います。

拡 子育て世代包括支援事業……………8,143千円

妊産婦や乳幼児の状況を継続的・包括的に把握し、必要に応じて、支援プランの作成や関係機関と連携して切れ目のない支援を提供します。また、産後ケア事業を行い、産後に家族の支援が十分に受けられない母子を支援します。

新 出産・子育て応援給付金給付事業……………44,271千円

国の「出産・子育て応援交付金」を活用し、妊娠期から出産・子育てまで一貫して相談に応じて、必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」と、出産費用などの負担を軽減する「経済的支援」を一体として行い、全ての妊婦・子育て世帯が、安心して出産・子育てできるよう支援します。

自立支援給付事業……………1,416,716千円

障がい者と障がい児がその有する能力や適性に応じて、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、障害福祉サービスにかかる給付や支援を行います。

拡 子ども医療費助成事業……………223,837千円

子育て家庭への経済的な支援として、18歳までの子どもを対象に、通院や入院に要した医療保険適用の医療費を助成します。今年度の8月から、現物給付の対象を高校生などまで拡大します。また、1つの医療機関において毎月入院10日、通院5回を越えた以降の医療費が無料になります。

出産祝金支給事業……………27,600千円

次代を担う子どもたちの健全育成と人口増加による市の活性化のため、市民の出産を奨励し祝福する祝金として、第2子10万円、第3子以降20万円を支給します。

乳幼児紙おむつ給付事業……………27,912千円

子育て家庭の経済的負担を軽減し、安心して子どもを育てられる環境づくりのため、2歳未満の乳幼児を養育している人に、月額3,000円分の紙おむつ購入券を支給します。

新 保育所統合整備事業……………2,200千円

施設の老朽化や保育士不足などに対応するため「旭市立保育所再編計画」に基づき、保育所の再編・統合を進めます。

新 学校再編推進事業……………5,450千円

将来を担う子どもたちに、公平で充実した、より良い教育環境を確保するため、適正規模、適正配置による学校施設の再編を進めます。

拡 小学校教諭補助員配置事業……………54,367千円

児童の基礎学力向上、特別支援教育の充実を図るため、教諭補助員を各小学校に配置します。また、英語教諭補助員を派遣し、英語コミュニケーション能力を育成します。今年度は、教諭補助員を増員するほか、養護教諭補助員1人を新規に配置します。

拡 中学校英語指導助手配置事業……………53,707千円

英語を母国語とする外国青年を外国語指導助手(A L T)として各中学校に配置します。今年度も外国語指導助手を増員し、英語教育のさらなる充実と国際交流の促進を図ります。



妊娠から子育てまで切れ目のない支援

拡 学校給食センター運営費……………527,390千円

児童生徒の心身の健全な発達を促すため、栄養のバランスが取れた給食を提供します。県補助金を活用し、給食費の第3子以降無償化の対象範囲を拡充するほか、物価高騰による経費不足分を市が補填するなど、子育て世帯の経済的支援を行います。

拡 文化振興事業……………17,290千円

市民の文化意識の高揚を図るため、コンサート、演芸などの各種文化振興事業を実施します。今年度から、書道の普及と書道への関心を深めることを目的とした子ども書道大会を行います。

拡 大原幽学遺跡史跡公園管理費……………72,373千円

国指定史跡である大原幽学遺跡、旧宅などの史跡公園の維持管理を行います。今年度から、史跡大原幽学遺跡整備基本計画に基づき、防災設備の更新工事や公園北側の駐車場の整備を進めます。

拡 スポーツ振興事業……………23,726千円

各種スポーツイベントや各種団体への支援を行い、スポーツ振興を図ります。今年度から、パラ卓球ナショナルチームの合宿を誘致し、市民との交流を推進します。

新 スポーツ施設管理運営費……………122,573千円

市民がスポーツに親しみ、健康と体力の向上を図るため、スポーツ施設の維持管理を行います。今年度から、社会体育施設12施設の管理運営を指定管理者が行うことで、市民サービスの向上と施設の利用促進を図ります。

**ひとの定着・還流・移住
③の流れをつくり、人々が
集うまちづくり**

定住交流の促進、安全で快適な道路の整備、良好な生活環境形成のための事業など

ふるさと応援寄附推進事業……………71,691千円

市への寄付者に特産品や体験型の返礼品を提供することで、市の魅力を全国に発信し、知名度の向上や産業の活性化、関係人口の増加を図るとともに財源の確保に努めます。

拡 シティプロモーション推進事業…………… 16,968千円

情報発信により市の魅力をPRします。また、映画やドラマなどの作品の舞台を訪れてもらうロケツーリズムを推進し、地域の活性化を図ります。今年度は、PR動画で情報発信を行い、ロケの招致を図ります。

移住・定住促進事業…………… 71,871千円

定住を目的とした転入者や市内在住の若者世帯に対し、住宅取得時に費用の一部として奨励金を交付します。また、地域おこし協力隊を移住コーディネーターとしてサポートセンターに配置し、移住相談や地域の魅力を情報発信することで、移住・定住者の誘引を図ります。

拡 住宅用省エネルギー設備設置助成事業…………… 8,250千円

家庭における地球温暖化対策を促進するため、住宅用省エネルギー設備などの設置者に経費の一部を助成します。今年度から、住宅用太陽光発電設備の設置者に限り、電気自動車の購入費用などの一部を助成します。

蛇園南地区排水路整備事業…………… 183,128千円

蛇園南地区の道路冠水被害を改善し、当地域の安全・安心な生活環境の向上を図るため、排水路を整備します。

飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業…………… 656,351千円

地域経済の活性化や地域間交流のため、国道126号から主要地方道銚子・旭線を結ぶ道路を整備します。

南堀之内バイパス整備事業…………… 287,345千円

地域経済の活性化と生活基盤の充実のため、国道126号から、主要地方道大栄・栗源・干潟線までを結ぶ幹線道路を整備します。

冠水対策排水整備事業…………… 367,316千円

道路冠水が多発する地域において、効果的で経済的な排水整備を実施し、集中豪雨や台風などによる冠水の解消や緩和を図ります。

拡 都市計画総務事務費…………… 25,172千円

秩序ある良好な住環境の形成を実現するため、市全域を視野に都市計画の見直しを図ります。

住宅リフォーム補助事業…………… 25,000千円

居住環境の向上と市内の経済活性化を目的として、市民が市内施工業者を利用して行ったリフォーム費用の一部を助成します。

拡 空き家等対策推進事業…………… 18,049千円

地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしている空き家などの解消と発生の抑制、活用につながる施策を総合的にを行います。今年度から、空家バンクに登録されていた物件の改修費用の一部を助成します。

4 将来にわたって元気な地域
をつくり、安全・安心で暮
らしやすいまちづくり

震災からの復興、防災力の強化、行政経営推進のための事業など

拡 防災行政無線等整備事業…………… 62,365千円

災害時などの重要な情報伝達手段である防災行政無線の管理と定期的な点検を行います。今年度から、更新時期を迎えた設備の改修と電波方式を改めることにより、機能の向上を図ります。

拡 電子自治体推進事業…………… 28,579千円

情報社会の発展に合わせて、効率的な電子自治体を推進します。また、地域情報化推進のため、公共施設の公衆無線LANの運用管理を行い、情報セキュリティ対策を強化します。今年度から、会議のペーパーレス化、オンライン会議・研修、テレワークなどの環境整備を図り、自治体DXを推進します。

新 消防庁舎整備事業…………… 513,338千円

海上分署と飯岡分署を統合した消防分署を新築します。人員を集約し、迅速で多種多様な出動体制を整え、海上・飯岡地域への出動体制の強化を図ります。

消防施設整備事業…………… 41,975千円

地震などの大規模災害発生時の消防力の強化を図るため、耐震性貯水槽・消火栓の新設や、消防水利の安全管理と維持補修を行います。

震災復興・津波避難道路整備事業…………… 243,488千円

飯岡地区と津波避難場所である飯岡中を結ぶ路線(横根・三川線)を整備します。

1から**4**の全てに関連する事業

生涯活躍のまち形成事業…………… 132,357千円

人口減少と少子高齢化に歯止めをかけるため、国の推進する「生涯活躍のまち」構想に基づき、旭中央病院から連携拠点である季楽里あさひを構想エリアとし、元気な高齢者と子育て世代を中心とする都市住民の誘致と、雇用の創出による若年世代の流出抑制、流入促進を実現し、市全体の活性化を図ります。

このページを抜き取って利用してください。



ロケ誘致で市の魅力を発信